

教員名

教育研究開発センター
講師 佐々木 洋子

I 授業の目的

医学・医療を社会システム的な観点から捉え直す。医療およびその周辺にある社会的課題への理解を深めることで、医療を取り巻く社会（環境）の仕組みや特徴を把握するとともに、医療が社会（環境）に与える影響を理解することを目指す。また、社会現象を多様な視座から捉え、通念的な見方に対して批判的思考を働かせることで、様々な人々のあり方や社会的背景に配慮することのできる医師になるために必要な幅広い視野と見過ごされている問題への感受性を身につける。

II 到達目標

- ・近代医学の特徴を説明できる。
- ・医原病を説明できる。
- ・医療化を説明できる。
- ・保健医療関連職種について、その専門性や特徴を説明できる。
- ・医師の専門性を説明できる。
- ・保健医療専門職や関連アクターとの連携の必要性を説明できる。
- ・保健医療専門職におけるジェンダーの問題を説明できる。
- ・LGBTやSOGIの概念を正しく説明できる。
- ・性の多様性と人権の観点から、医療のあり方を考察できる。
- ・社会の多様性を考慮したコミュニケーションに必要なことを説明できる。
- ・学習した諸概念を用いて医学・医療との関わりのもとで社会現象（社会問題）を考察できる。
- ・こんにちの健康・病気・医療をめぐる言説のあり方を概観できる。

III 教育内容

以下のように講義を進める。進度により内容が前後することがある。

1. 近代医学の誕生
2. 文化と医療（医療化）
3. 映像から考える医療と社会（1）
4. 保健医療福祉専門職とアクター
5. ジェンダーと医療
6. 映像から考える医療と社会（2）
7. セクシュアル・マイノリティの人権と医療
8. 映像から考える医療と社会（3）
9. 家族と医療
10. 映像から考える医療と社会（4）

IV 学習および教育方法

講義形式（ディスカッションを取り入れることもある）。映像資料を用いる。適宜、資料を配付する。

V 評価の方法

各講義内で筆記試験を行い、その合計により評価を行う。原則60%以上の得点をもって合格とする。授業への積極的な参加は評価対象とし、適宜、加点する。その他、全学的基準を前提とする。

VI 推薦する参考書

講義中に随時紹介する。

VII. オフィスアワー

佐々木 洋子 月曜日 17:00～18:00

【連絡方法】 y_sasaki★wakayama-med.ac.jp または Teams から

【実施場所】 相談の上決定

講 義 日 程 表

No.	月日	曜日	時限	項 目	担当教室	担当
1	R7.4.4	(金)	1	近代医学の誕生	教育研究開発センター	佐々木
2	R7.4.11	(金)	1	文化と医療(医療化)	教育研究開発センター	佐々木
3	R7.4.18	(金)	1	映像から考える医療と社会(1)	教育研究開発センター	佐々木
4	R7.4.25	(金)	1	保健医療福祉専門職とアクター	教育研究開発センター	佐々木
5	R7.5.9	(金)	1	ジェンダーと医療	教育研究開発センター	佐々木
6	R7.5.16	(金)	1	映像から考える医療と社会(2)	教育研究開発センター	佐々木
7	R7.5.23	(金)	1	セクシュアル・マイノリティの人権と医療	教育研究開発センター	佐々木
8	R7.5.30	(金)	1	映像から考える医療と社会(3)	教育研究開発センター	佐々木
9	R7.6.6	(金)	1	家族と医療	教育研究開発センター	佐々木
10	R7.6.13	(金)	1	映像から考える医療と社会(4)	教育研究開発センター	佐々木